

## 埋却困難地域の移動式レンダリング装置利用計画等の検討：岡山県井笠家保 近藤恵、横内淳一郎

管内の干拓地には1万頭を超える牛が飼養され、口蹄疫の発生に備えた埋却予定地は干拓地内に確保。しかし、地質調査で軟弱地盤と判明。結果、通常の埋却及び盛土方式による埋却は不可と判断。このため国保有の移動式レンダリング装置（以下、装置）による死体処理を検討。装置設置予定場所と生成物封入密閉容器置場は農道空港滑走路とし、装置の選定、輸送ルート、レイアウトなど提案。なお、装置の設置は最大4台まで可能と見込み、迅速な処理を図る。装置で処理された生成物は、県内の産業廃棄物処理場2カ所での処分を検討。課題は、装置稼働に必要な資機材及び動員者（委託）やオペレーターの確保、近隣住民に対する装置設置への理解醸成。発生時の風評被害を想定した県産農畜産物出荷等に係る事前対策の検討など。今後、関係機関と協議を重ね、口蹄疫等の発生に備え、さらなる検討を進める。